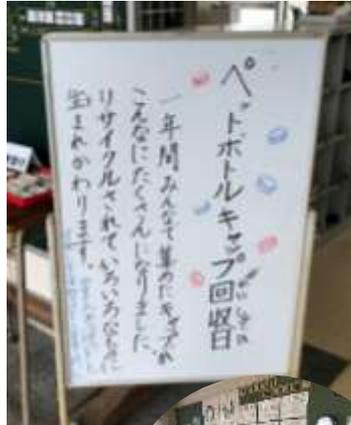


# ペットボトルキャップ回収運動

9月21日(金) 約1年間で集まったペットボトルキャップを(社)グループMATEの松野さんが回収に横浜から来てくださいました。お昼休みだったこともあり、子どもたちと一緒に積み込み作業を手伝ってくれました。地域の皆様が持ち寄ってくださること



もあり、今年は10kg入りの袋が19個にもなりました。10kgで約5人分のワクチン代になるので、100人近い世界の子どもたちにワクチンを贈ることができます。



エコキャップ運動は、ゴミを減らし、リサイクルし、そしてワクチンを贈る運動です。

ペットボトルキャップ回収運動は、身近なところからできるボランティア活動です。子どもたちにも3つの目的を伝えながら活動していきたいと思えます。



回収に先立ち、夏休みのラジオ体操の後に、金属やペットボトルキャップではないものが混じっていないか子どもたち



ちと仕分け作業を行いました。異臭がするほど、汚れのひどいものあり、子どもたちの手が止まってしまったこともあり。軽くすすいで乾かしてから、お持ちいただくと大変助かります。



## 第11回 我が街ふるさと運動会

～つなげよう笑顔の輪～

●11月25日(日) 10時～12時  
受付開始 9時30分

●杉八小体育館

※お持ちであれば体育館履き・運動靴などをご用意ください。外履きを入れる袋をご持参ください。

## 第6回 高円寺ゆめ音楽祭



地域の小学校・中学校の音楽クラブや吹奏楽部などが大集合!!

●12月23日(日・祝) 13時開演

●セッション杉並

箏クラブと音楽教室が出演します!



### 杉八小学校支援本部メンバー

#### 【運営委員】

渡辺忠司(顧問)	田中健五(顧問)	星野直子(本部長)
横関きみ子	高山幸子	川島郁夫
志村安啓	平井巧	鳥切智予美
大野由美	林正弘	
黒川雅仁校長	中澤郁実副校長	
万年伸子高円寺中央児童館館長		

#### 【事務局】

中澤洋子	増田由巳子	豊川充子	羽田悦子
宮崎まゆみ	釘丸加奈子	堀田真理	

平成30年10月29日発行

発行人：杉並第八小学校支援本部 本部長・星野直子

『びい〜プロジェクト』は杉八小の子どもたちのためのプロジェクトです

# びい〜通信

杉八小学校支援本部の活動をピックアップしてお伝えします

杉八小学校支援本部「びい〜プロジェクト」 Vol.16  
http://www.suginami-school.ed.jp/sugi8shou



6月30日 快晴の青空の下、サタハチ(土曜日学校活動)でペットボトルロケットを行いました。自分たちで思い思いのロケットを作り、ロケット台に装着。親&児の会の方々に力いっぱいポンプで空気を送り込んでもらおうと、ペットボトルロケットは子どもたちの歓声と共に、勢いよく青空に向かって飛んでいきました。

『びい〜プロジェクト』は杉八小の子どもたちのためのプロジェクトです

こんにちは 杉八小学校支援本部・『びい〜プロジェクト』です。2007年の発足以来、学校と地域との協働ということで、杉八小の子どもたちの“知・徳・体”の一層の成長を願い、そのお手伝いをさせていただいております。地域のみなさまのご理解とご協力の下、これからも学校・保護者・地域の強い絆を大切に頑張っております。

# 阿波おどりボランティア

## 6年生 総合学習



毎年恒例とはいえ、夏休みのボランティア活動では6年生の一生懸命取り組む姿はいつも感動させられます。今年は特に厳しい暑さの中の取り組みで先生方も子どもたちの体調を気遣いながらの活動になりました。

そのかいもあって、翌日のゴミも数年前に比べると減少しているように思われます。このような大規模のお祭りには切っても切り離せない



「ごみ問題」を子どもの目線で問題意識を持って地域住民と一緒に取り組む姿勢は他の地域では出来ない高円寺ならではの地域性ではないかと思えます。



いつも温かく子どもたちを見守っていただき、ご指導いただいている町会、商店街、東京高円寺阿波おどり振興協会の皆さん本当にありがとうございました。

8月25・26日 阿波おどりの演舞場で、ゴミの回収を行いました。



# 高円寺の空に トンボを飛ばそう!!



## ヤゴ救出大作戦&ヤゴいかだを作ろう!

6月3日・9月15日 サタハチ(土曜日学校活動)



杉並区内の小中学校で、ヤゴ救出が始まったのが2000年頃。理科や総合の授業で行う学校が多い中、杉八では当初より親&児の会が中心となって土曜日学校活動の中で行われてきました。

田んぼやため池などの水辺の環境が少ない都会で、夏の水泳の授業が終わった後のプールは、消火用水として水が張りっぱなしになっているため、ヤゴを始めさまざまな生き物にとって貴重な棲みかになっています。けれどもプール開きの前の清掃時にその生き物たちはプールの水と一緒に下水に流されてしまいます。そんなヤゴたちを救出してトンボになるまで育てよう、高円寺の空にトンボを飛ばそう! というのがヤゴ救出大作戦。

毎年、数センチほどのアカネ系のヤゴと大人の指ほどもある大きなギンヤンマのヤゴを100頭以上救います。時々、シオカラトンボやイトトンボのヤゴも見つかります。ヤゴの他にはアメンボやオタマジャクシ、ミズムシやカゲロウの幼虫、そしてユスリカの幼虫であるアカムシなど水の中の豊かな生態系を観察することができます。

これは、杉八の周囲の環境が豊かであることの証明ですが、実はたくさんの生き物が発生するような仕掛けもしているからです。そのひとつが、プールに浮かぶヤゴいかだです。水に直接卵を産むものと水辺の植物に産みつけるものに分



◀羽化の瞬間  
を見ることが  
できました

▼過去のいかだ作りの様子です



かれます。大型で子どもたちに人気のあるヤンマは後者なので、何も無いプールには産みません。そこで、プールが終わるとすぐに、ヤンマが産卵できるようにヤゴ用のいかだをプールに浮かべておくのです。このヤゴいかだも、杉八のものは超特大! 竹をひもで結んで作る本格派で、ちゃんと浮かぶかどうか子どもたち自身が乗って確かめてしまうという大胆さ。洋服の下にはしっかり水着を着て、今年最後のプールを楽しみます。

今年は雨のためヤゴいかだづくりは中止になってしまいましたが、親&児さんたちがこっそりいかだを浮かべてくれました。来年もたくさんのヤゴを救えるといいですね。